日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	サッカーコーチ論1

科目基礎情報

開設学科	スポーツ健康学科三年制	コース名	サッカーコース	開設期	前期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	15時間
単位数	1単位	授業形態	講義		
教科書/教材	日本サッカー協会公認指導教本、DVDなど				

担当教員情報

担当教員	八重樫	実務経験の有無・職種	有・サッカーコーチ

学習目的

サッカーコーチに必要とされる理論を習得し、特に12歳以下の子供たちに必要とされる理論全般について理解を深め、それをグラウンド上で実際に各個人が子供たちへサッカーの指導が行えることを目的とします。

到達目標

学習目的を踏まえ、日本サッカー協会公認D級ライセンス取得に向け習得してきた理論を充分に発揮しながら取得できるようになること、また、将来的に指導者を目指す学生においては取得後の理論向上および実践を繰り返しながら就職へ繋げていきます。

教育方法等

授業概要	座学を中心に行います。プロジェクターにてパワーポイント理論資料や必要映像の投影および、グループディスカッションにより他者との意見交換および新しい発見や理解を深めます。また、パワーポイント資料については毎回の授業で配布するとともに、重要事項のメモをとりながら振り返りができる状態にし各学生が習得できるように進行していきます。
注意点	・遅刻、欠席の際、教員室へ電話連絡を授業前に入れ担当教員へその旨を伝えます ・授業時間数の4分の3以上出席しない者は期末試験が受けられません ・筆記用具を持参することとします

評価方法	種別	割合	備考
	試験・課題	50%	理論試験により評価します
	小テスト	0%	
	レポート	0%	
	成果発表（口頭・実技）	20%	授業時間内のグループディスカッションなどにより評価します
	平常点	30%	積極的な授業参加度、授業態度により評価します

授業計画（１回～８回）

回	授業内容	各回の到達目標
１回	指導者という立場でのSNS理解	SNSを取り巻く良い面、危険な面を十分に理解できるようになり以後活用できるようになります
２回	大人の役割と関わり	大人(親・指導者）の役割と関わり、子どもとの距離間について理解できるようになります
３回	発育発達について	スキャモンの発育発達曲線をもとに神経系発達についてなどを理解できるようになます
４回	コーチの役割	コーチの役割を理解し12歳以下の子供たちを導かなくてはならないことを理解できるようになります
５回	サッカー用語のついて	サッカー用語３種類(技術、戦術、コーチング）の理解ができるようになます
６回	実技の考え方	プレーヤーズファーストの精神およびそれをふまえた実技指導が理解できるようになります
７回	メディカルと食事	外傷と傷害、熱中症対策および処置などが理解できるようになります
８回	ゲーム環境について	12歳以下のゲーム環境の推奨と種類が理解できるようになります